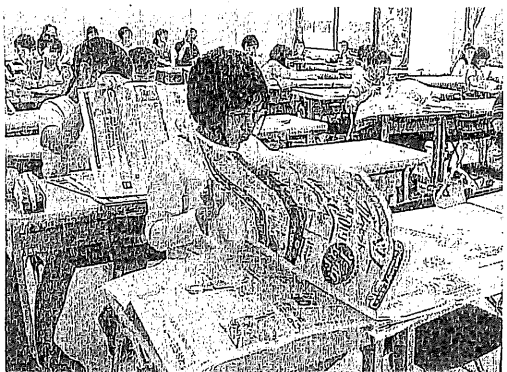


気になる記事を探す子どもたち（7日、新座市の十文字学園女子大で）



新聞と友達になれたかな？

新座で講座

十文字学園女子大（新座市）で7日、夏休みの子ども向け講座「新聞を知ろう！新聞と友達になろう！」が開催された。読売新聞販売店（YC）新座中央が協力し、県内の小学生約20人が新聞の役割や活用術などを学んだ。

はじめに、同大メディア

コミュニケーション学科の石野栄一教授らが、新聞の製作工程や配達されるまでの流れを紹介。続いて県NIE（教育に新聞を）アドバイザーでさいたま市立海老沼小教諭の菊池健一さんが講義を行った。

菊池さんは「朝刊の文字数は原稿用紙にすると何枚ぐらい？」などとクイズを出題。「新聞は読む力と考える力を養い、社会への関心を高める。特に、いろいろなモノの見方ができるようになる」と説明した。

この後、子どもたちはスクラップに挑戦。読売KODOMO新聞などを読んで、「異常気象」「オウム事件」「図書館の本の破損問題」など、気になる記事を選り抜き、選んだ理由、さらに知りたいことなどを台紙に書き込んでいた。